

第 6 次幸手市総合振興計画策定のための
職員意識調査

結果報告書

平成 30 年 3 月

幸 手 市

目次

第1章 調査の目的等	1
1 調査の目的	2
2 調査の方法と回収方法	2
3 報告書を見る際の注意事項	2
第2章 調査結果	3
1 回答者の属性	4
2 第5次幸手市総合振興計画について	7
3 行財政改革について	11
4 市の施策について	18
5 自由記述欄	33
参考資料 調査票	35

第 1 章 調査の目的等

1 調査の目的

- 本調査は、第6次幸手市総合振興計画の策定にあたり、市職員が総力を挙げて取り組む、職員参画による計画策定をめざし、行政運営に対する職員の考え方やこれからの方向性等を把握するとともに、市民との意識との相違を把握するために実施したものです。

2 調査の方法と回収方法

【調査の方法等】

調査対象	幸手市の全職員 382 人
回収数	319 人
回収率	83.5%
調査方法	庁内配布・回収
調査期間	平成 29 年 12 月 27 日～平成 30 年 1 月 16 日

3 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「N」（＝Number）は、設問への回答者数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。また、複数回答のクロス集計の場合には、縦と横の合計は「回答者数」を示し、パーセントの母数を示しています。そのため、数字を足しあげた数とは一致しません。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。また、1位を白文字、2位を太文字で表現していますが、1位が複数ある場合には、2位の表記は行っていない。
- 本文で太字の部分は、全体分析にあたり特に重要な部分のコメントをしています。
- 今回、平成 29 年度に実施した市民意識調査結果との比較を一部で実施しています。

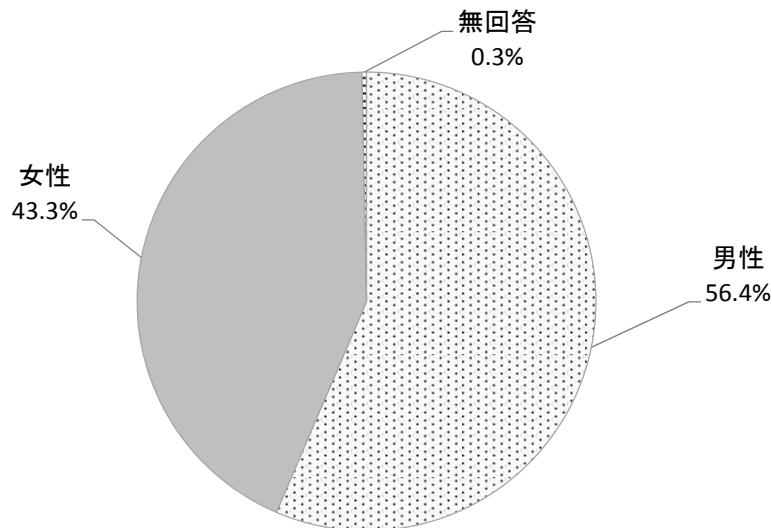
第 2 章 調査結果

1 回答者の属性

問1 あなたの性別は、どちらですか。（1つに○）

【全体】

「男性」が56.4%、「女性」が43.3%となっています。



(N=319)

【年齢別】

		回答者数	男性	女性	無回答
全体	人数	319	180	138	1
	構成比		56.4%	43.3%	0.3%
29歳以下	人数	81	44	37	0
	構成比		54.3%	45.7%	0.0%
30歳代	人数	55	29	26	0
	構成比		52.7%	47.3%	0.0%
40歳代	人数	78	40	38	0
	構成比		51.3%	48.7%	0.0%
50歳以上	人数	104	67	37	0
	構成比		64.4%	35.6%	0.0%
無回答	人数	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

【職階別】

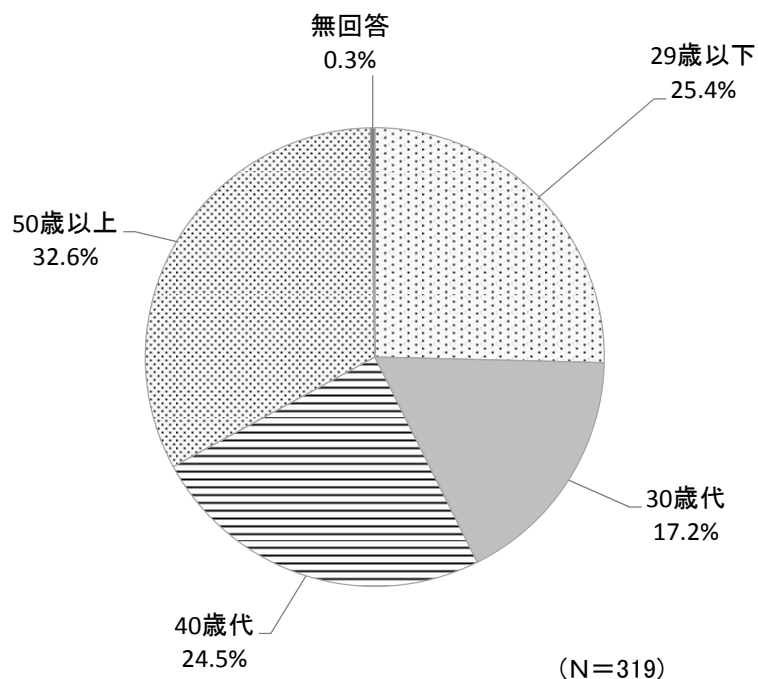
		回答者数	男性	女性	無回答
全体	人数	319	180	138	1
	構成比		56.4%	43.3%	0.3%
管理職	人数	90	81	9	0
	構成比		90.0%	10.0%	0.0%
管理職以外	人数	227	99	128	0
	構成比		43.6%	56.4%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	1
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。(平成29年12月1日現在の年齢をお答えください。)(1つに○)

【全体】

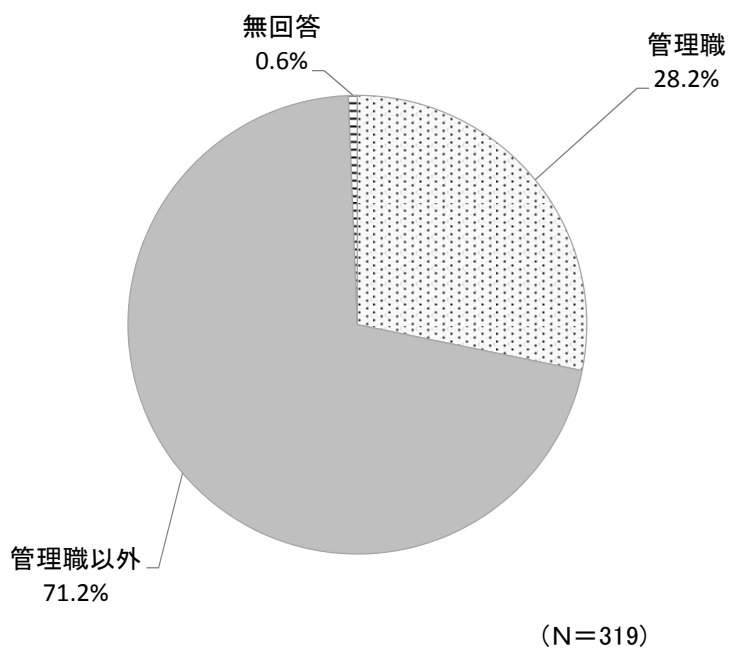
「50歳以上」が32.6%、「29歳以下」が25.4%の順となっています。



問3 あなたは管理職ですか。(1つに○)

【全体】

「管理職以外」が71.2%、「管理職」が28.2%の順となっています。

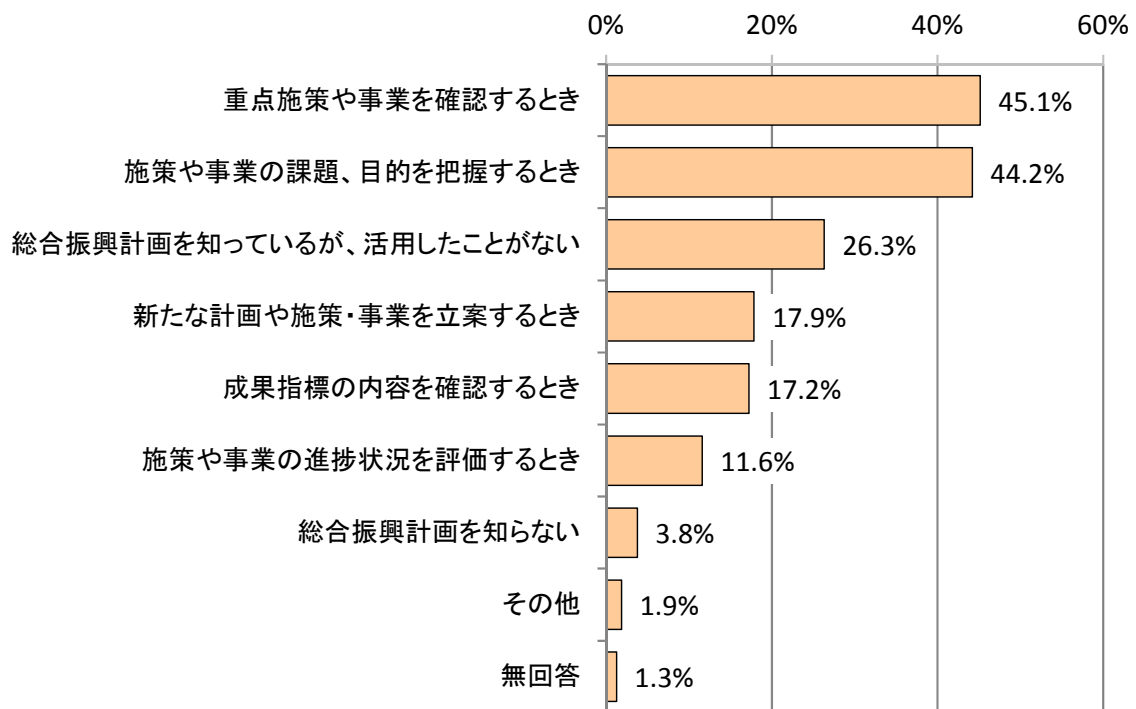


2 第5次幸手市総合振興計画について

問4 あなたは、第5次幸手市総合振興計画後期基本計画をどのようなときに活用していますか。（2つに○）

【全体】

「重点施策や事業を確認するとき」が45.1%と最も多く、次いで「施策や事業の課題、目的を把握するとき」が44.2%の順となっています。



(N=319)

【年齢別】

29 歳以下では、「総合振興計画を知っているが、活用したことがない」が最も多くなっています。

		回答者数	施策や事業の課題、目的を把握するとき	重点施策や事業を確認するとき	成果指標の内容を確認するとき	施策や事業の進捗状況を評価するとき	新たな計画や施策・事業を立案するとき	総合振興計画を知っているが、活用したことがない	総合振興計画を知らない	その他	無回答
全体	人数	319	141	144	55	37	57	84	12	6	4
	構成比		44.2%	45.1%	17.2%	11.6%	17.9%	26.3%	3.8%	1.9%	1.3%
29歳以下	人数	81	36	22	9	3	9	38	4	3	0
	構成比		44.4%	27.2%	11.1%	3.7%	11.1%	46.9%	4.9%	3.7%	0.0%
30歳代	人数	55	24	26	8	8	10	14	4	2	0
	構成比		43.6%	47.3%	14.5%	14.5%	18.2%	25.5%	7.3%	3.6%	0.0%
40歳代	人数	78	37	41	20	8	10	15	2	0	2
	構成比		47.4%	52.6%	25.6%	10.3%	12.8%	19.2%	2.6%	0.0%	2.6%
50歳以上	人数	104	44	55	18	18	28	17	2	1	1
	構成比		42.3%	52.9%	17.3%	17.3%	26.9%	16.3%	1.9%	1.0%	1.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位：白文字、2位：太文字

【職階別】

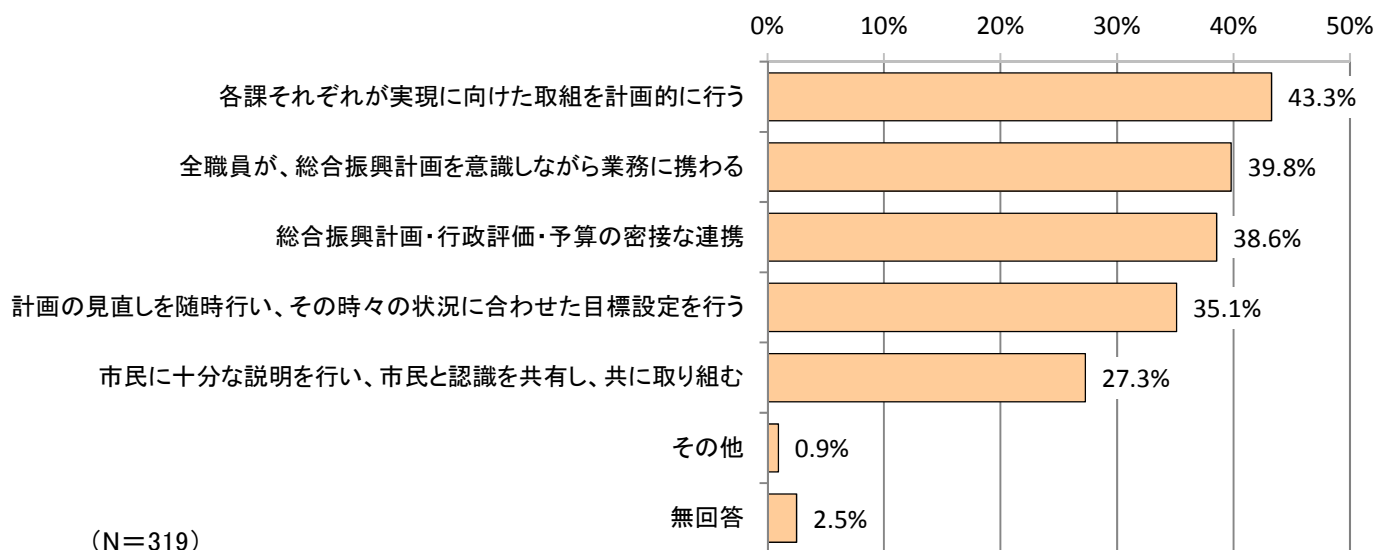
管理職以外では、「施策や事業の課題、目的を把握するとき」が最も多くなっています。

		回答者数	施策や事業の課題、目的を把握するとき	重点施策や事業を確認するとき	成果指標の内容を確認するとき	施策や事業の進捗状況を評価するとき	新たな計画や施策・事業を立案するとき	総合振興計画を知っているが、活用したことがない	総合振興計画を知らない	その他	無回答
全体	人数	319	141	144	55	37	57	84	12	6	4
	構成比		44.2%	45.1%	17.2%	11.6%	17.9%	26.3%	3.8%	1.9%	1.3%
管理職	人数	90	53	57	24	16	22	2	0	0	1
	構成比		58.9%	63.3%	26.7%	17.8%	24.4%	2.2%	0.0%	0.0%	1.1%
管理職以外	人数	227	88	87	31	21	35	81	12	6	2
	構成比		38.8%	38.3%	13.7%	9.3%	15.4%	35.7%	5.3%	2.6%	0.9%
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位：白文字、2位：太文字

問5 総合振興計画の施策の課題について、課題解決に向けた取組として特にどのような点が重要だと思いますか。（2つに○）

「各課それぞれが実現に向けた取組を計画的に行う」が43.3%と最も多く、次いで「全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる」の39.8%となっています。



【年齢別】

40 歳代では、「総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携」「全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる」が最も多く、50 歳以上では「総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携」が最も多くなっています。

		回答者数	総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携	各課それぞれが実現に向けた取組を計画的に行う	全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる	計画の見直しを随時行い、その時々状況に合わせた目標設定を行う	市民に十分な説明を行い、市民と認識を共有し、共に取り組む	その他	無回答
全体	人数	319	123	138	127	112	87	3	8
	構成比		38.6%	43.3%	39.8%	35.1%	27.3%	0.9%	2.5%
29歳以下	人数	81	23	39	38	24	25	1	1
	構成比		28.4%	48.1%	46.9%	29.6%	30.9%	1.2%	1.2%
30歳代	人数	55	18	27	20	21	17	0	0
	構成比		32.7%	49.1%	36.4%	38.2%	30.9%	0.0%	0.0%
40歳代	人数	78	37	36	37	27	11	0	1
	構成比		47.4%	46.2%	47.4%	34.6%	14.1%	0.0%	1.3%
50歳以上	人数	104	45	36	32	40	34	2	5
	構成比		43.3%	34.6%	30.8%	38.5%	32.7%	1.9%	4.8%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位：白文字、2位：太文字

【職階別】

管理職では、「総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携」が最も多くなっています。

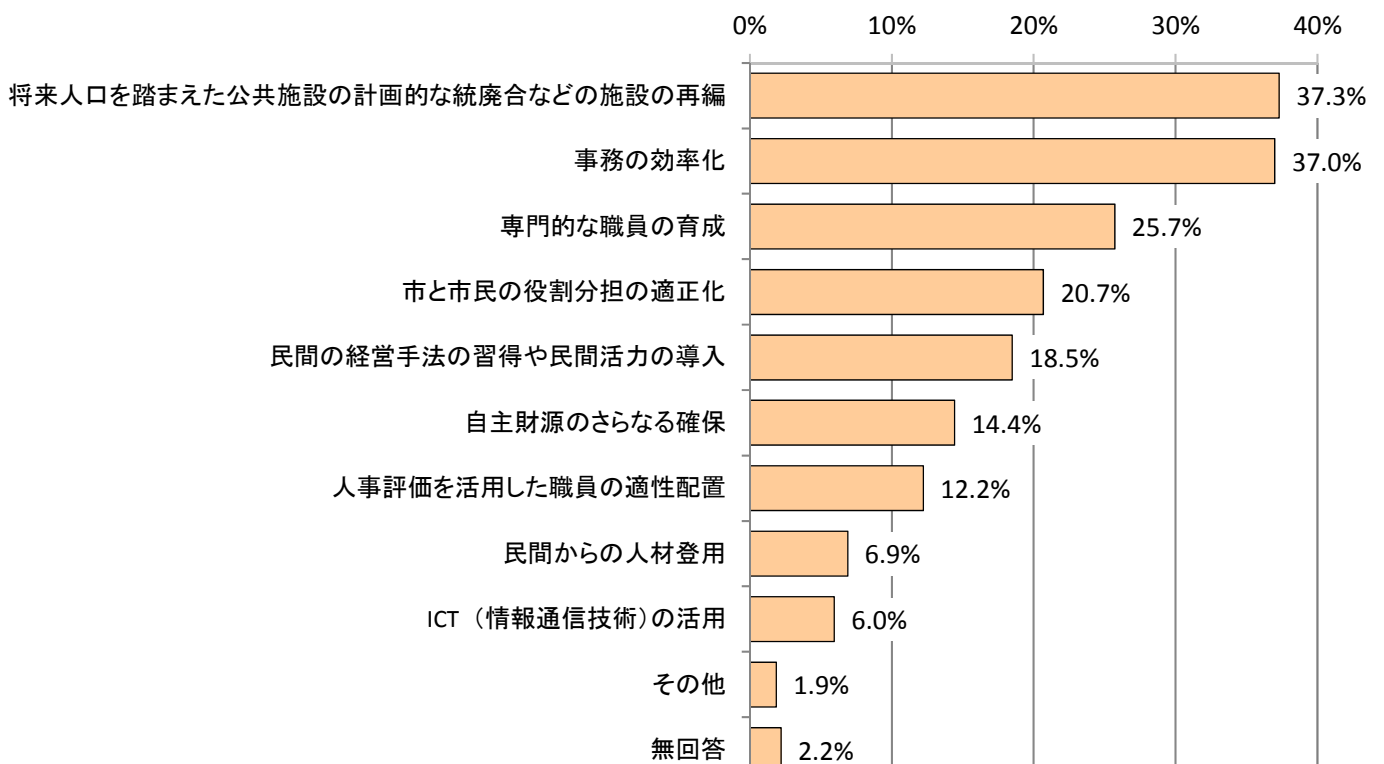
		回答者数	総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携	各課それぞれが実現に向けた取組を計画的に行う	全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる	計画の見直しを随時行い、その時々状況に合わせた目標設定を行う	市民に十分な説明を行い、市民と認識を共有し、共に取り組む	その他	無回答
全体	人数	319	123	138	127	112	87	3	8
	構成比		38.6%	43.3%	39.8%	35.1%	27.3%	0.9%	2.5%
管理職	人数	90	57	39	32	33	13	2	2
	構成比		63.3%	43.3%	35.6%	36.7%	14.4%	2.2%	2.2%
管理職以外	人数	227	66	99	94	78	74	1	5
	構成比		29.1%	43.6%	41.4%	34.4%	32.6%	0.4%	2.2%
無回答	人数	2	0	0	1	1	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位：白文字、2位：太文字

3 行財政改革について

問6 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきことは何だと思えますか。(2つまで○)

「将来人口を踏まえた公共施設の計画的な統廃合などの施設の再編」が37.3%と最も多く、次いで「事務の効率化」が37.0%の順となっています。



(N=319)

【年齢別】

40 歳代以下では、「事務の効率化」が最も多くなっています。

		回答者数	事務の効率化	将来人口を踏まえた公共施設の計画的な統廃合などの施設の再編	市と市民の役割分担の適正化	民間からの人材登用	ICT(情報通信技術)の活用
全体	人数	319	118	119	66	22	19
	構成比		37.0%	37.3%	20.7%	6.9%	6.0%
29歳以下	人数	81	36	20	14	5	8
	構成比		44.4%	24.7%	17.3%	6.2%	9.9%
30歳代	人数	55	21	17	10	7	1
	構成比		38.2%	30.9%	18.2%	12.7%	1.8%
40歳代	人数	78	35	28	15	8	5
	構成比		44.9%	35.9%	19.2%	10.3%	6.4%
50歳以上	人数	104	26	54	27	2	5
	構成比		25.0%	51.9%	26.0%	1.9%	4.8%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		自主財源のさらなる確保	専門的な職員の育成	民間の経営手法の習得や民間活力の導入	人事評価を活用した職員の適性配置	その他	無回答
全体	人数	46	82	59	39	6	7
	構成比	14.4%	25.7%	18.5%	12.2%	1.9%	2.2%
29歳以下	人数	13	15	14	16	2	2
	構成比	16.0%	18.5%	17.3%	19.8%	2.5%	2.5%
30歳代	人数	6	15	12	7	1	1
	構成比	10.9%	27.3%	21.8%	12.7%	1.8%	1.8%
40歳代	人数	7	24	16	5	0	1
	構成比	9.0%	30.8%	20.5%	6.4%	0.0%	1.3%
50歳以上	人数	20	28	17	11	3	2
	構成比	19.2%	26.9%	16.3%	10.6%	2.9%	1.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

【職階別】

管理職以外では、「事務の効率化」が最も多くなっています。

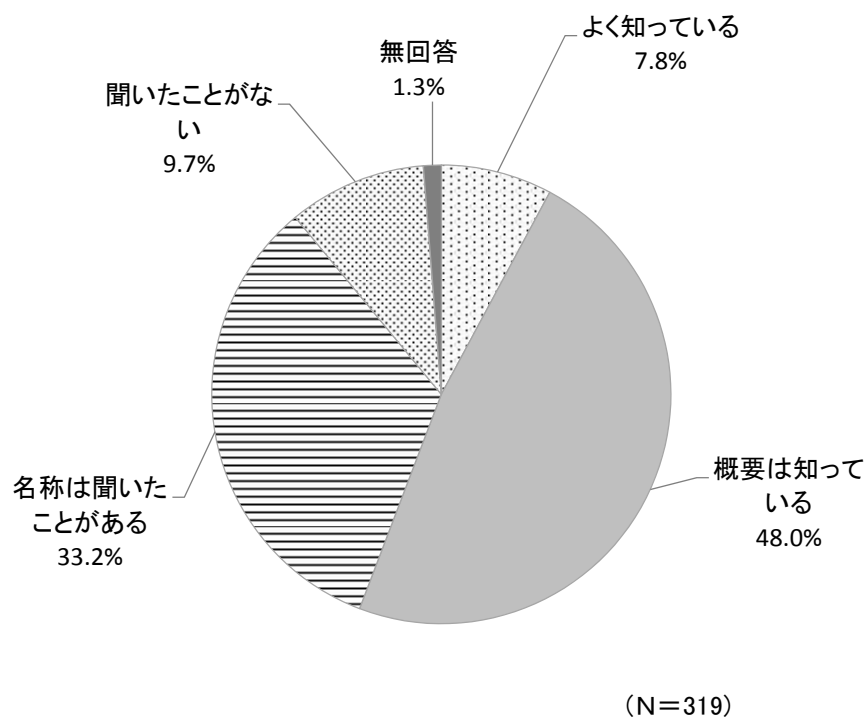
		回答者数	事務の効率化	将来人口を踏まえた公共施設の計画的な統廃合などの施設の再編	市と市民の役割分担の適正化	民間からの人材登用	ICT(情報通信技術)の活用
全体	人数	319	118	119	66	22	19
	構成比		37.0%	37.3%	20.7%	6.9%	6.0%
管理職	人数	90	27	44	26	4	9
	構成比		30.0%	48.9%	28.9%	4.4%	10.0%
管理職以外	人数	227	91	74	40	18	10
	構成比		40.1%	32.6%	17.6%	7.9%	4.4%
無回答	人数	2	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		自主財源のさらなる確保	専門的な職員の育成	民間の経営手法の習得や民間活力の導入	人事評価を活用した職員の適性配置	その他	無回答
全体	人数	46	82	59	39	6	7
	構成比	14.4%	25.7%	18.5%	12.2%	1.9%	2.2%
管理職	人数	14	25	14	6	2	1
	構成比	15.6%	27.8%	15.6%	6.7%	2.2%	1.1%
管理職以外	人数	32	57	45	33	4	5
	構成比	14.1%	25.1%	19.8%	14.5%	1.8%	2.2%
無回答	人数	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

問7 あなたは、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画について、どの程度ご存じですか。(1つに○)

「概要は知っている」が48.0%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがある」が33.2%となっています。



【年齢別】

29 歳以下では、「名称は聞いたことがある」が最も多くなっています。

		回答者数	よく知っている	概要は知っている	名称は聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全体	人数	319	25	153	106	31	4
	構成比		7.8%	48.0%	33.2%	9.7%	1.3%
29歳以下	人数	81	2	30	38	11	0
	構成比		2.5%	37.0%	46.9%	13.6%	0.0%
30歳代	人数	55	2	26	19	8	0
	構成比		3.6%	47.3%	34.5%	14.5%	0.0%
40歳代	人数	78	5	50	17	4	2
	構成比		6.4%	64.1%	21.8%	5.1%	2.6%
50歳以上	人数	104	16	47	32	8	1
	構成比		15.4%	45.2%	30.8%	7.7%	1.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

【職階別】

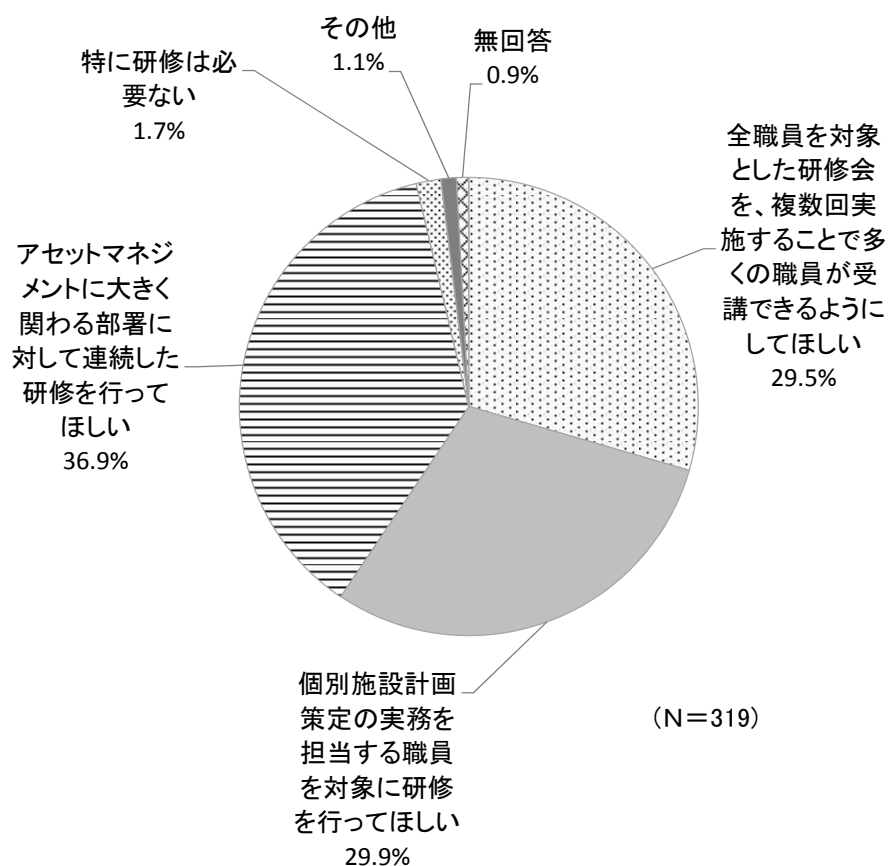
管理職以外では、「名称は聞いたことがある」が最も多くなっています。

		回答者数	よく知っている	概要は知っている	名称は聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全体	人数	319	25	153	106	31	4
	構成比		7.8%	48.0%	33.2%	9.7%	1.3%
管理職	人数	90	21	67	2	0	0
	構成比		23.3%	74.4%	2.2%	0.0%	0.0%
管理職以外	人数	227	4	85	104	31	3
	構成比		1.8%	37.4%	45.8%	13.7%	1.3%
無回答	人数	2	0	1	0	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

問8 本市では、問7の計画を受けて平成30年度から2年間で公共施設の個別計画を策定する予定です。それに伴いアセットマネジメントに関する職員向けの研修会を行う場合、どのような形態が良いと思いますか。(2つまで○)

「アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい」が36.9%と最も多く、次いで「個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい」が29.9%となっています。



【年齢別】

50 歳以上では、「個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい」が最も多くなっています。（「アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい」と同率 1 位）

		回答者数	全職員を対象とした研修会を、複数回実施することで多くの職員が受講できるようにしてほしい	個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい	アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい	特に研修は必要ない	その他	無回答
全体	人数	319	136	138	170	8	5	4
	構成比		42.6%	43.3%	53.3%	2.5%	1.6%	1.3%
29歳以下	人数	81	34	32	44	3	0	0
	構成比		42.0%	39.5%	54.3%	3.7%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	55	25	20	30	0	2	0
	構成比		45.5%	36.4%	54.5%	0.0%	3.6%	0.0%
40歳代	人数	78	38	29	39	0	0	2
	構成比		48.7%	37.2%	50.0%	0.0%	0.0%	2.6%
50歳以上	人数	104	39	57	57	5	3	1
	構成比		37.5%	54.8%	54.8%	4.8%	2.9%	1.0%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

【職階別】

		回答者数	全職員を対象とした研修会を、複数回実施することで多くの職員が受講できるようにしてほしい	個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい	アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい	特に研修は必要ない	その他	無回答
全体	人数	319	136	138	170	8	5	4
	構成比		42.6%	43.3%	53.3%	2.5%	1.6%	1.3%
管理職	人数	90	45	45	47	1	3	1
	構成比		50.0%	50.0%	52.2%	1.1%	3.3%	1.1%
管理職以外	人数	227	90	93	123	7	2	2
	構成比		39.6%	41.0%	54.2%	3.1%	0.9%	0.9%
無回答	人数	2	1	0	0	0	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

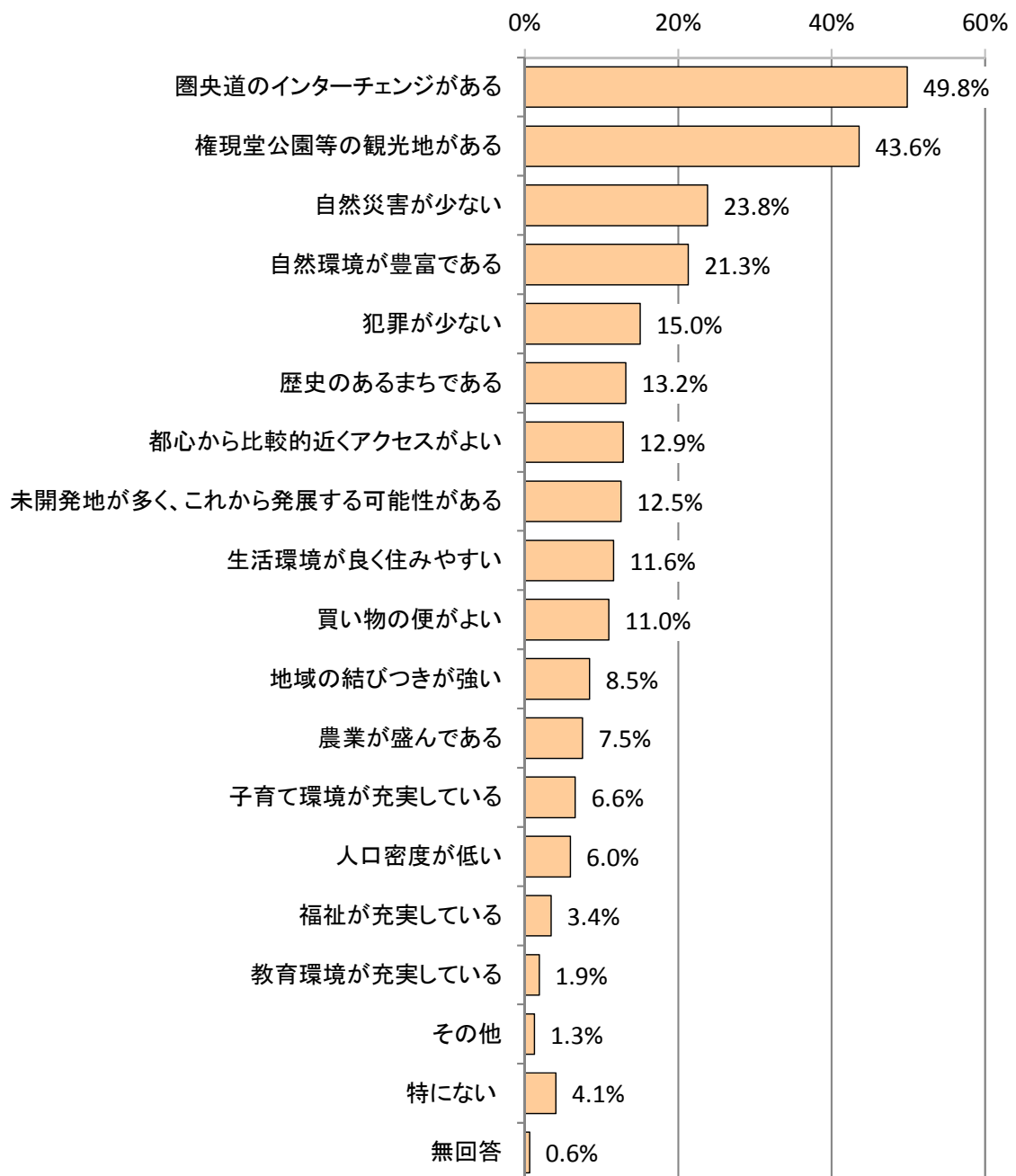
1位: 白文字、2位: 太文字

4 市の施策について

問9 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思う点は何ですか。（3つまで○）

【全体】

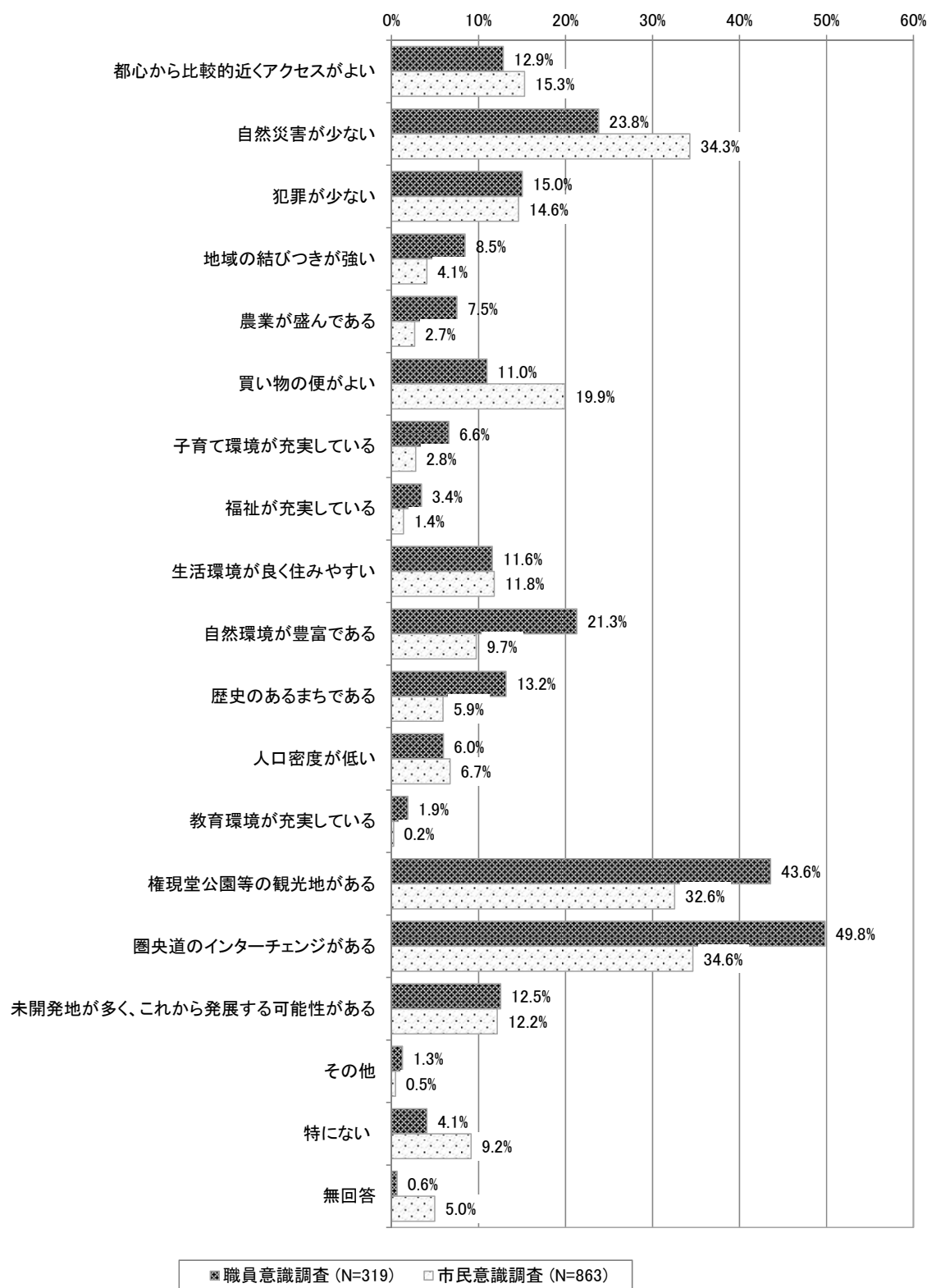
「圏央道のインターチェンジがある」が49.8%と最も多く、次いで「権現堂公園等の観光地がある」が43.6%となっています。



(N=319)

【市民との比較】

「圏央道のインターチェンジがある」「権現堂公園等の観光地がある」が、市民より10ポイント以上上回っています。



【年齢別】

30 歳代では、「権現堂公園等の観光地がある」が最も多くなっています。

		回答者数	都心から比較的近くアクセスがよい	自然災害が少ない	犯罪が少ない	地域の結びつきが強い	農業が盛んである	買い物の便がよい	子育て環境が充実している	福祉が充実している	生活環境が良く住みやすい
全体	人数	319	41	76	48	27	24	35	21	11	37
	構成比		12.9%	23.8%	15.0%	8.5%	7.5%	11.0%	6.6%	3.4%	11.6%
29歳以下	人数	81	13	9	10	10	9	10	2	1	11
	構成比		16.0%	11.1%	12.3%	12.3%	11.1%	12.3%	2.5%	1.2%	13.6%
30歳代	人数	55	9	6	5	3	7	7	7	4	6
	構成比		16.4%	10.9%	9.1%	5.5%	12.7%	12.7%	12.7%	7.3%	10.9%
40歳代	人数	78	6	19	12	6	3	8	6	2	11
	構成比		7.7%	24.4%	15.4%	7.7%	3.8%	10.3%	7.7%	2.6%	14.1%
50歳以上	人数	104	13	42	21	8	4	10	6	4	9
	構成比		12.5%	40.4%	20.2%	7.7%	3.8%	9.6%	5.8%	3.8%	8.7%
無回答	人数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		自然環境が豊富である	歴史のあるまちである	人口密度が低い	教育環境が充実している	権現堂公園等の観光地がある	圏央道のインターチェンジがある	未開発地が多く、これから発展する可能性がある	その他	特にな	無回答
全体	人数	68	42	19	6	139	159	40	4	13	2
	構成比	21.3%	13.2%	6.0%	1.9%	43.6%	49.8%	12.5%	1.3%	4.1%	0.6%
29歳以下	人数	14	9	7	0	34	41	13	1	3	1
	構成比	17.3%	11.1%	8.6%	0.0%	42.0%	50.6%	16.0%	1.2%	3.7%	1.2%
30歳代	人数	14	6	6	1	28	26	6	0	5	0
	構成比	25.5%	10.9%	10.9%	1.8%	50.9%	47.3%	10.9%	0.0%	9.1%	0.0%
40歳代	人数	21	12	2	1	32	44	10	1	1	0
	構成比	26.9%	15.4%	2.6%	1.3%	41.0%	56.4%	12.8%	1.3%	1.3%	0.0%
50歳以上	人数	19	15	4	4	44	48	10	2	4	1
	構成比	18.3%	14.4%	3.8%	3.8%	42.3%	46.2%	9.6%	1.9%	3.8%	1.0%
無回答	人数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

【職階別】

		回答者数	都心から比較的近くアクセスがよい	自然災害が少ない	犯罪が少ない	地域の結びつきが強い	農業が盛んである	買い物の便がよい	子育て環境が充実している	福祉が充実している	生活環境が良く住みやすい
全体	人数	319	41	76	48	27	24	35	21	11	37
	構成比		12.9%	23.8%	15.0%	8.5%	7.5%	11.0%	6.6%	3.4%	11.6%
管理職	人数	90	8	30	11	7	6	11	7	3	16
	構成比		8.9%	33.3%	12.2%	7.8%	6.7%	12.2%	7.8%	3.3%	17.8%
管理職以外	人数	227	33	46	37	20	17	23	14	8	21
	構成比		14.5%	20.3%	16.3%	8.8%	7.5%	10.1%	6.2%	3.5%	9.3%
無回答	人数	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

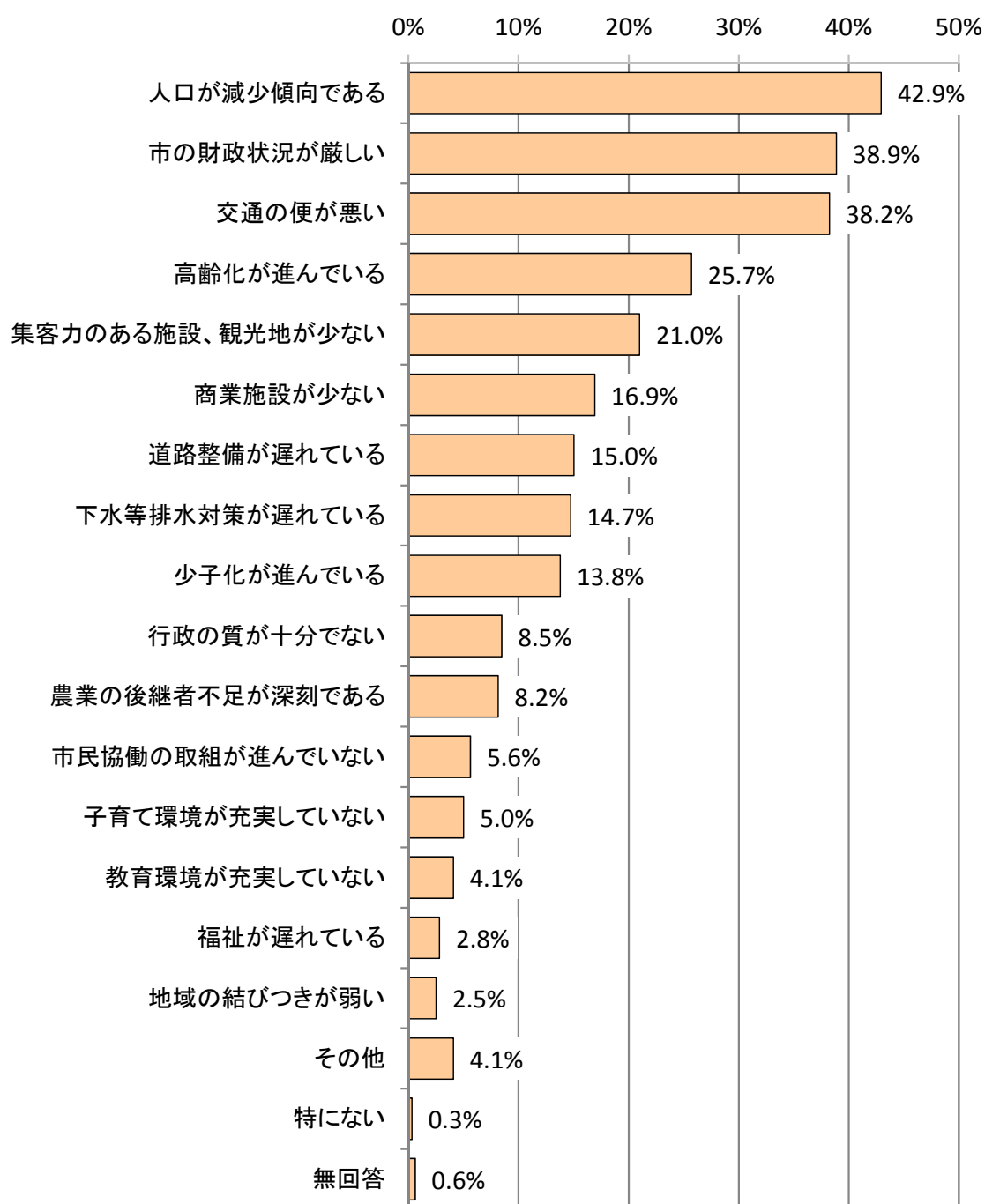
		自然環境が豊富である	歴史のあるまちである	人口密度が低い	教育環境が充実している	権現堂公園等の観光地がある	圏央道のインターチェンジがある	未開発地が多く、これから発展する可能性がある	その他	特にな	無回答
全体	人数	68	42	19	6	139	159	40	4	13	2
	構成比	21.3%	13.2%	6.0%	1.9%	43.6%	49.8%	12.5%	1.3%	4.1%	0.6%
管理職	人数	15	14	2	1	37	51	12	2	0	0
	構成比	16.7%	15.6%	2.2%	1.1%	41.1%	56.7%	13.3%	2.2%	0.0%	0.0%
管理職以外	人数	53	28	17	5	100	107	27	2	13	2
	構成比	23.3%	12.3%	7.5%	2.2%	44.1%	47.1%	11.9%	0.9%	5.7%	0.9%
無回答	人数	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

問 10 幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思う点は何ですか。(3つまで○)

【全体】

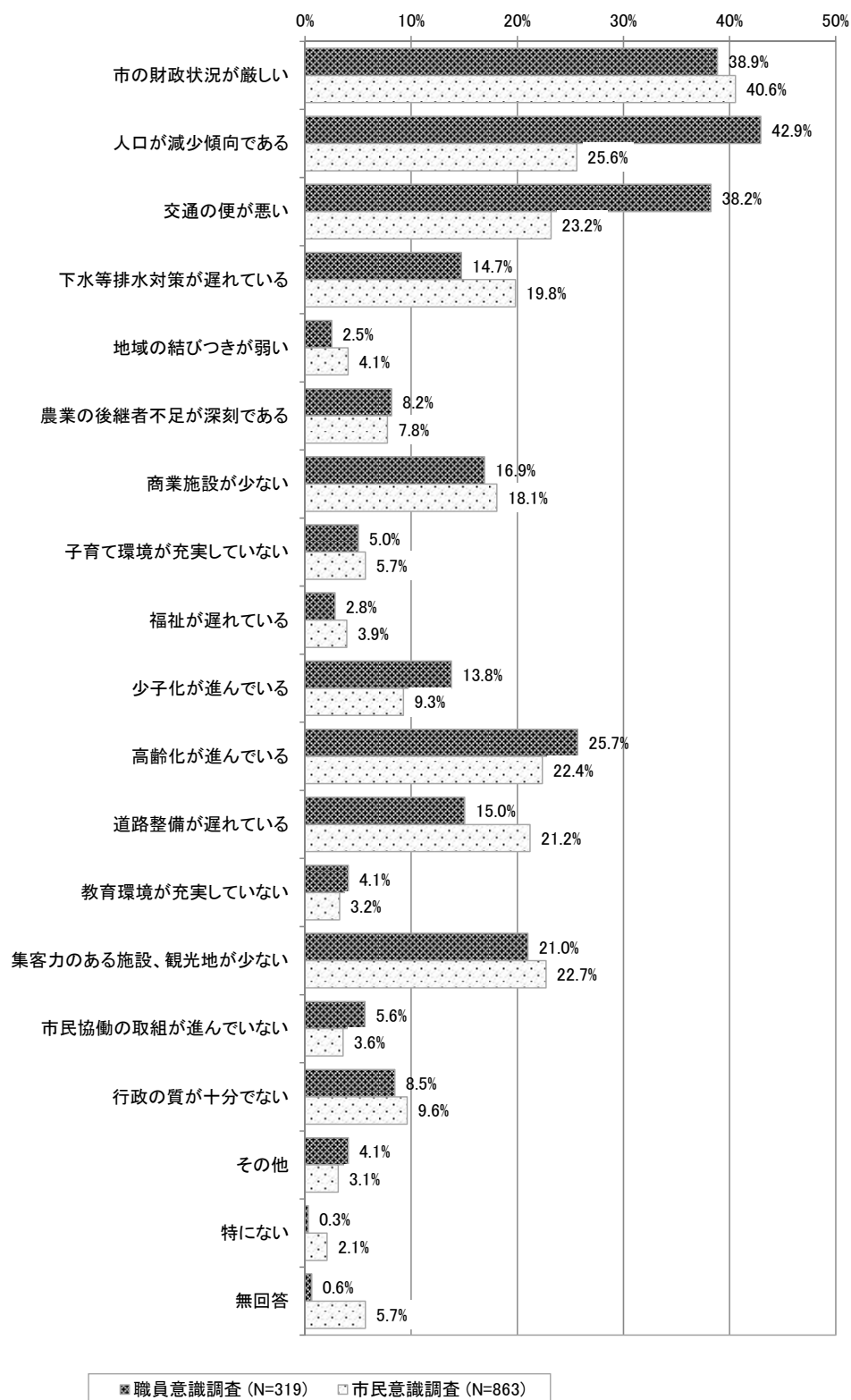
「人口が減少傾向である」が 42.9%と最も多く、次いで「市の財政状況が厳しい」が 38.9%となっています。



(N=319)

【市民との比較】

市民意識調査では、「市の財政状況が厳しい」が最も多くなっています。また、「人口が減少傾向である」は、職員意識調査の方が約 17 ポイント上回っています。



【年齢別】

30 歳代以下では、「交通の便が悪い」が最も多くなっています。

		回答者数	市の財政状況が厳しい	人口が減少傾向である	交通の便が悪い	下水等排水対策が遅れている	地域の結びつきが弱い	農業の後継者不足が深刻である	商業施設が少ない	子育て環境が充実していない	福祉が遅れている
全体	人数	319	124	137	122	47	8	26	54	16	9
	構成比		38.9%	42.9%	38.2%	14.7%	2.5%	8.2%	16.9%	5.0%	2.8%
29歳以下	人数	81	28	29	43	9	2	3	21	4	2
	構成比		34.6%	35.8%	53.1%	11.1%	2.5%	3.7%	25.9%	4.9%	2.5%
30歳代	人数	55	17	22	24	8	3	3	12	5	0
	構成比		30.9%	40.0%	43.6%	14.5%	5.5%	5.5%	21.8%	9.1%	0.0%
40歳代	人数	78	30	34	24	13	0	5	10	3	2
	構成比		38.5%	43.6%	30.8%	16.7%	0.0%	6.4%	12.8%	3.8%	2.6%
50歳以上	人数	104	48	51	31	17	3	15	11	4	5
	構成比		46.2%	49.0%	29.8%	16.3%	2.9%	14.4%	10.6%	3.8%	4.8%
無回答	人数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		少子化が進んでいる	高齢化が進んでいる	道路整備が遅れている	教育環境が充実していない	集客力のある施設、観光地が少ない	市民協働の取組が進んでいない	行政の質が十分でない	その他	特にない	無回答
全体	人数	44	82	48	13	67	18	27	13	1	2
	構成比	13.8%	25.7%	15.0%	4.1%	21.0%	5.6%	8.5%	4.1%	0.3%	0.6%
29歳以下	人数	15	20	8	4	22	2	4	2	0	0
	構成比	18.5%	24.7%	9.9%	4.9%	27.2%	2.5%	4.9%	2.5%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	6	12	11	1	16	3	5	4	0	1
	構成比	10.9%	21.8%	20.0%	1.8%	29.1%	5.5%	9.1%	7.3%	0.0%	1.8%
40歳代	人数	6	20	12	6	17	5	3	3	1	1
	構成比	7.7%	25.6%	15.4%	7.7%	21.8%	6.4%	3.8%	3.8%	1.3%	1.3%
50歳以上	人数	17	29	17	2	12	8	15	4	0	0
	構成比	16.3%	27.9%	16.3%	1.9%	11.5%	7.7%	14.4%	3.8%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

【職階別】

管理職以外では、「交通の便が悪い」が最も多くなっています。

		回答者数	市の財政状況が厳しい	人口が減少傾向である	交通の便が悪い	下水等排水対策が遅れている	地域の結びつきが弱い	農業の後継者不足が深刻である	商業施設が少ない	子育て環境が充実していない	福祉が遅れている
全体	人数	319	124	137	122	47	8	26	54	16	9
	構成比		38.9%	42.9%	38.2%	14.7%	2.5%	8.2%	16.9%	5.0%	2.8%
管理職	人数	90	32	45	28	14	2	12	10	1	2
	構成比		35.6%	50.0%	31.1%	15.6%	2.2%	13.3%	11.1%	1.1%	2.2%
管理職以外	人数	227	90	90	94	33	6	14	44	15	7
	構成比		39.6%	39.6%	41.4%	14.5%	2.6%	6.2%	19.4%	6.6%	3.1%
無回答	人数	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		少子化が進んでいる	高齢化が進んでいる	道路整備が遅れている	教育環境が充実していない	集客力のある施設、観光地が少ない	市民協働の取組が進んでいない	行政の質が十分でない	その他	特にない	無回答
全体	人数	44	82	48	13	67	18	27	13	1	2
	構成比	13.8%	25.7%	15.0%	4.1%	21.0%	5.6%	8.5%	4.1%	0.3%	0.6%
管理職	人数	17	27	18	2	10	8	10	5	0	0
	構成比	18.9%	30.0%	20.0%	2.2%	11.1%	8.9%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
管理職以外	人数	27	54	30	11	56	10	17	8	1	2
	構成比	11.9%	23.8%	13.2%	4.8%	24.7%	4.4%	7.5%	3.5%	0.4%	0.9%
無回答	人数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

問 11 市の各施策について、市民はどのくらい満足していると思いますか。

満足度の分析にあたって

満足度の分析にあたっては、回答の項目を以下のルールで点数化し、その上で無回答を除く回答者数を母数として平均点を点数として設定しました。

〔満足度〕

満足・・・・・・・・・・2点
どちらかといえば満足・・・・・・・・1点
ふつう・・・・・・・・・・0点
どちらかといえば不満・・・・・・・・-1点
不満・・・・・・・・・・-2点

全体について

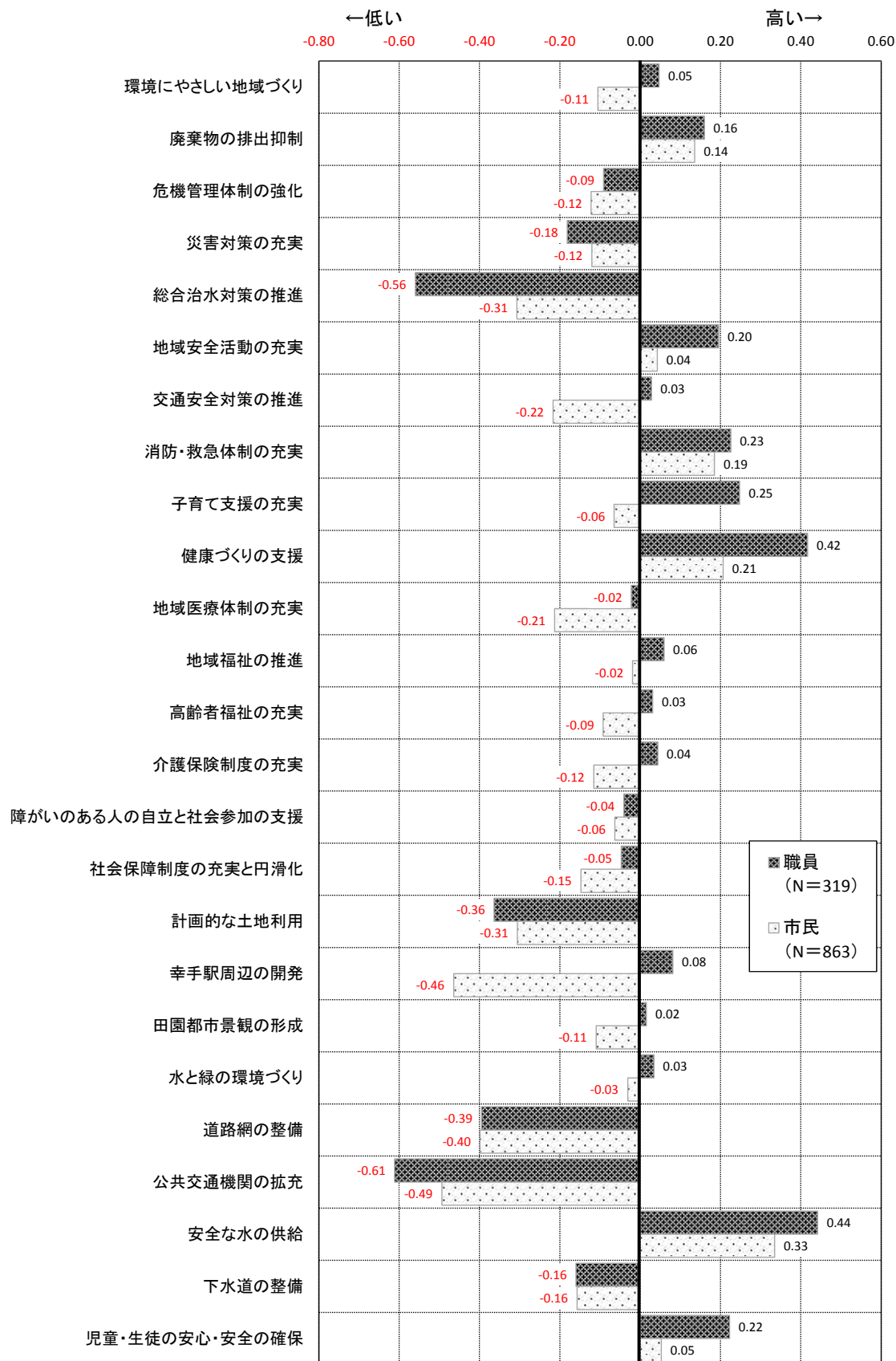
満足度について点数化して評価すると、「安全な水の供給」が最も満足度が高く、次いで「健康づくりの支援」「子育て支援の充実」となっています。

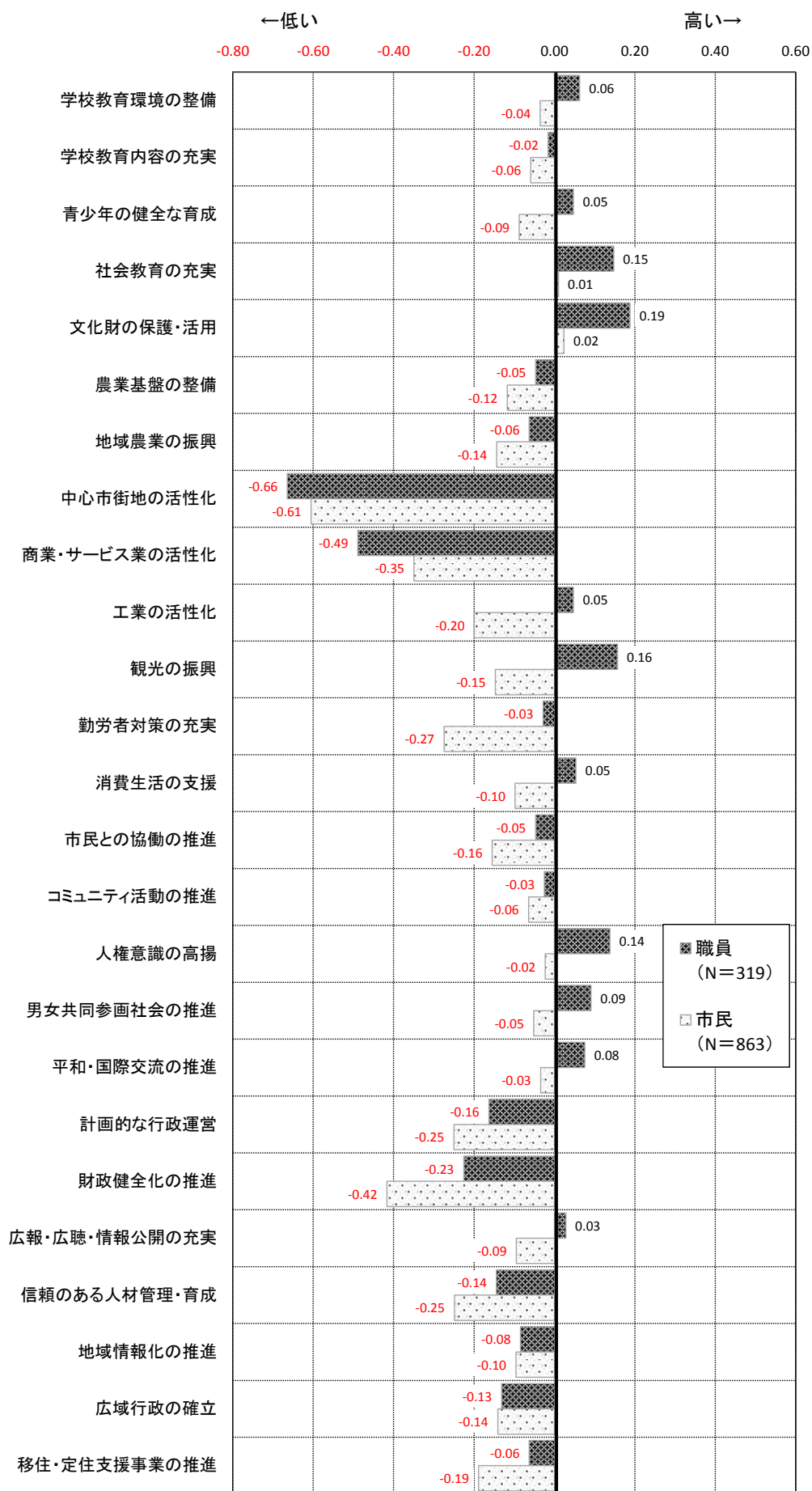
一方、満足度が低い施策は、「中心市街地の活性化」「公共交通機関の拡充」「総合治水対策の推進」となっています。

【市民との比較】

市民との比較では、市民の満足度が低い項目の中で「公共交通機関の拡充」「総合治水対策の推進」「商業・サービス業の活性化」では職員の方が0.1ポイント以上満足度が低くなっています。

一方、市民の満足度が低い項目の中で「幸手駅周辺の開発」では、0.54ポイント、市民の満足度が低くなっています。

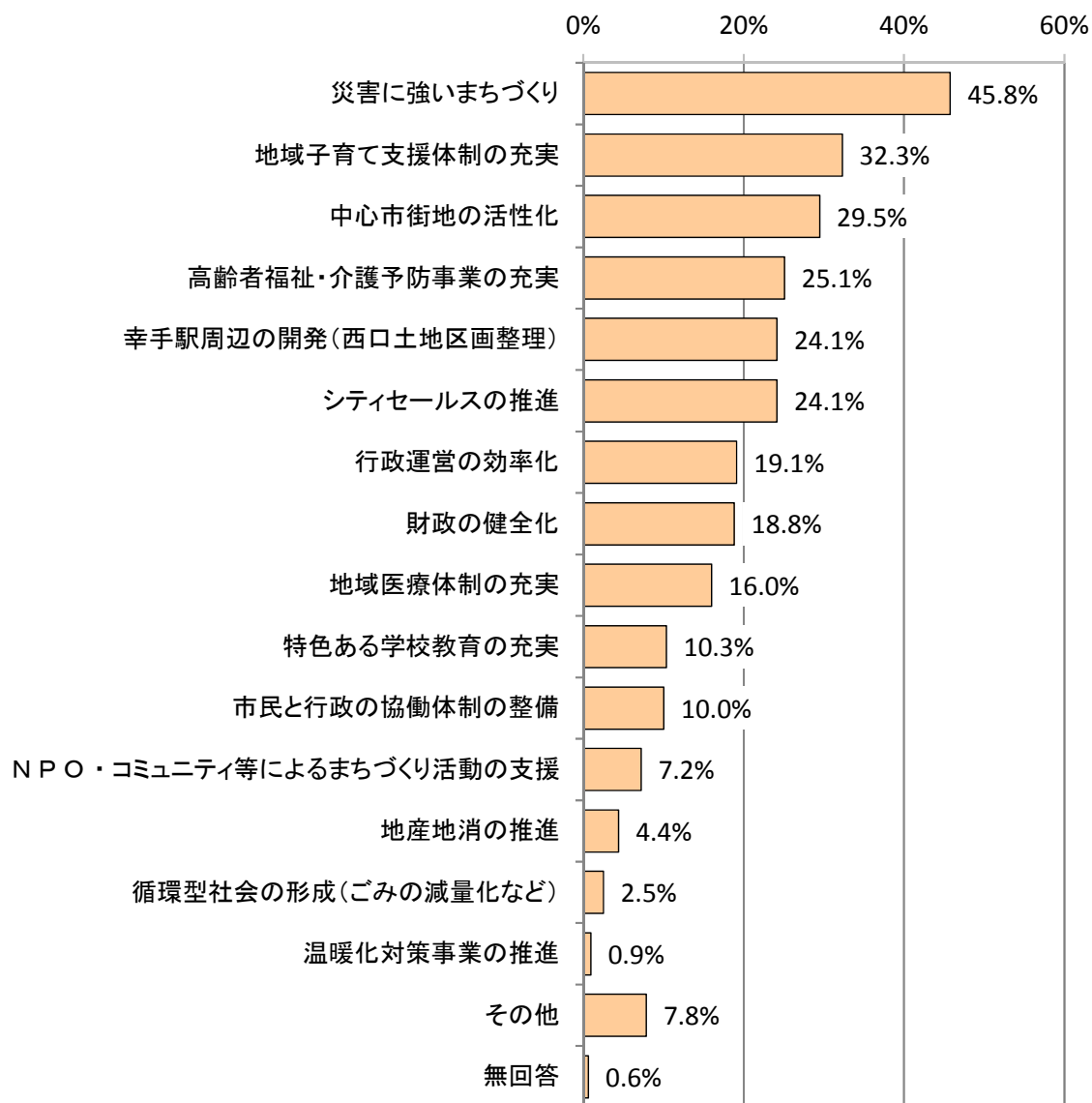




問 12 今後、10 年間で、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（3 つまで○）

【全体】

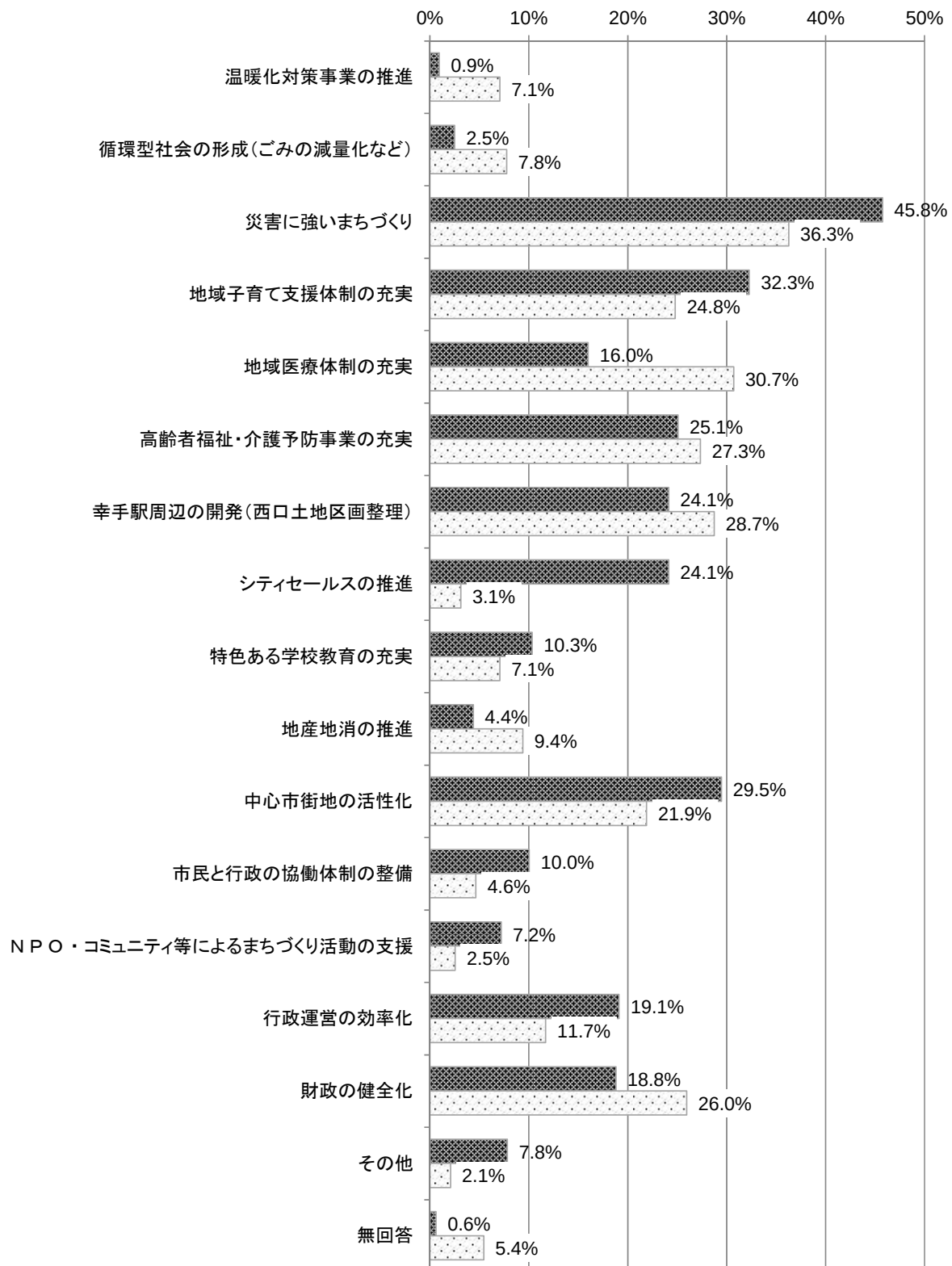
「災害に強いまちづくり」が 45.8%と最も多く、次いで「地域子育て支援体制の充実」が 32.3%の順となっています。



(N=319)

【市民との比較】

「シティセールスの推進」が市民と比較して約 21 ポイント上回っています。逆に「地域医療体制の充実」は、市民と比較して約 15 ポイント下回っています。



■ 職員意識調査 (N=319) □ 市民意識調査 (N=863)

【年齢別】

		回答者数	温暖化対策 事業の推進	循環型社会 の形成(ご みの減量化 など)	災害に強い まちづくり	地域子育て 支援体制の 充実	地域医療体 制の充実	高齢者福 祉・介護予 防事業の充 実	幸手駅周辺 の開発(西 口土地区画 整理)	シティセー ルスの推進
全体	人数	319	3	8	146	103	51	80	77	77
	構成比		0.9%	2.5%	45.8%	32.3%	16.0%	25.1%	24.1%	24.1%
29歳以下	人数	81	1	1	36	32	9	15	20	22
	構成比		1.2%	1.2%	44.4%	39.5%	11.1%	18.5%	24.7%	27.2%
30歳代	人数	55	1	2	30	18	7	6	18	15
	構成比		1.8%	3.6%	54.5%	32.7%	12.7%	10.9%	32.7%	27.3%
40歳代	人数	78	0	1	39	26	13	24	11	20
	構成比		0.0%	1.3%	50.0%	33.3%	16.7%	30.8%	14.1%	25.6%
50歳以上	人数	104	0	4	41	26	22	35	28	19
	構成比		0.0%	3.8%	39.4%	25.0%	21.2%	33.7%	26.9%	18.3%
無回答	人数	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

		特色ある学 校教育の充 実	地産地消の 推進	中心市街地 の活性化	市民と行政 の協働体制 の整備	NPO・コミュ ニティ等によ るまちづくり 活動の支援	行政運営の 効率化	財政の健全 化	その他	無回答
全体	人数	33	14	94	32	23	61	60	25	2
	構成比	10.3%	4.4%	29.5%	10.0%	7.2%	19.1%	18.8%	7.8%	0.6%
29歳以下	人数	5	3	25	3	5	15	23	8	0
	構成比	6.2%	3.7%	30.9%	3.7%	6.2%	18.5%	28.4%	9.9%	0.0%
30歳代	人数	6	1	22	4	8	6	6	5	0
	構成比	10.9%	1.8%	40.0%	7.3%	14.5%	10.9%	10.9%	9.1%	0.0%
40歳代	人数	9	4	19	13	6	16	9	3	2
	構成比	11.5%	5.1%	24.4%	16.7%	7.7%	20.5%	11.5%	3.8%	2.6%
50歳以上	人数	13	6	28	12	4	24	22	9	0
	構成比	12.5%	5.8%	26.9%	11.5%	3.8%	23.1%	21.2%	8.7%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

【職階別】

		回答者数	温暖化対策 事業の推進	循環型社会 の形成(ご みの減量化 など)	災害に強い まちづくり	地域子育て 支援体制の 充実	地域医療体 制の充実	高齢者福 祉・介護予 防事業の充 実	幸手駅周辺 の開発(西 口土地区画 整理)	シティセー ルスの推進
全体	人数	319	3	8	146	103	51	80	77	77
	構成比		0.9%	2.5%	45.8%	32.3%	16.0%	25.1%	24.1%	24.1%
管理職	人数	90	0	1	48	28	13	21	22	30
	構成比		0.0%	1.1%	53.3%	31.1%	14.4%	23.3%	24.4%	33.3%
管理職以外	人数	227	2	7	97	74	37	58	55	46
	構成比		0.9%	3.1%	42.7%	32.6%	16.3%	25.6%	24.2%	20.3%
無回答	人数	2	1	0	1	1	1	1	0	1
	構成比		50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%

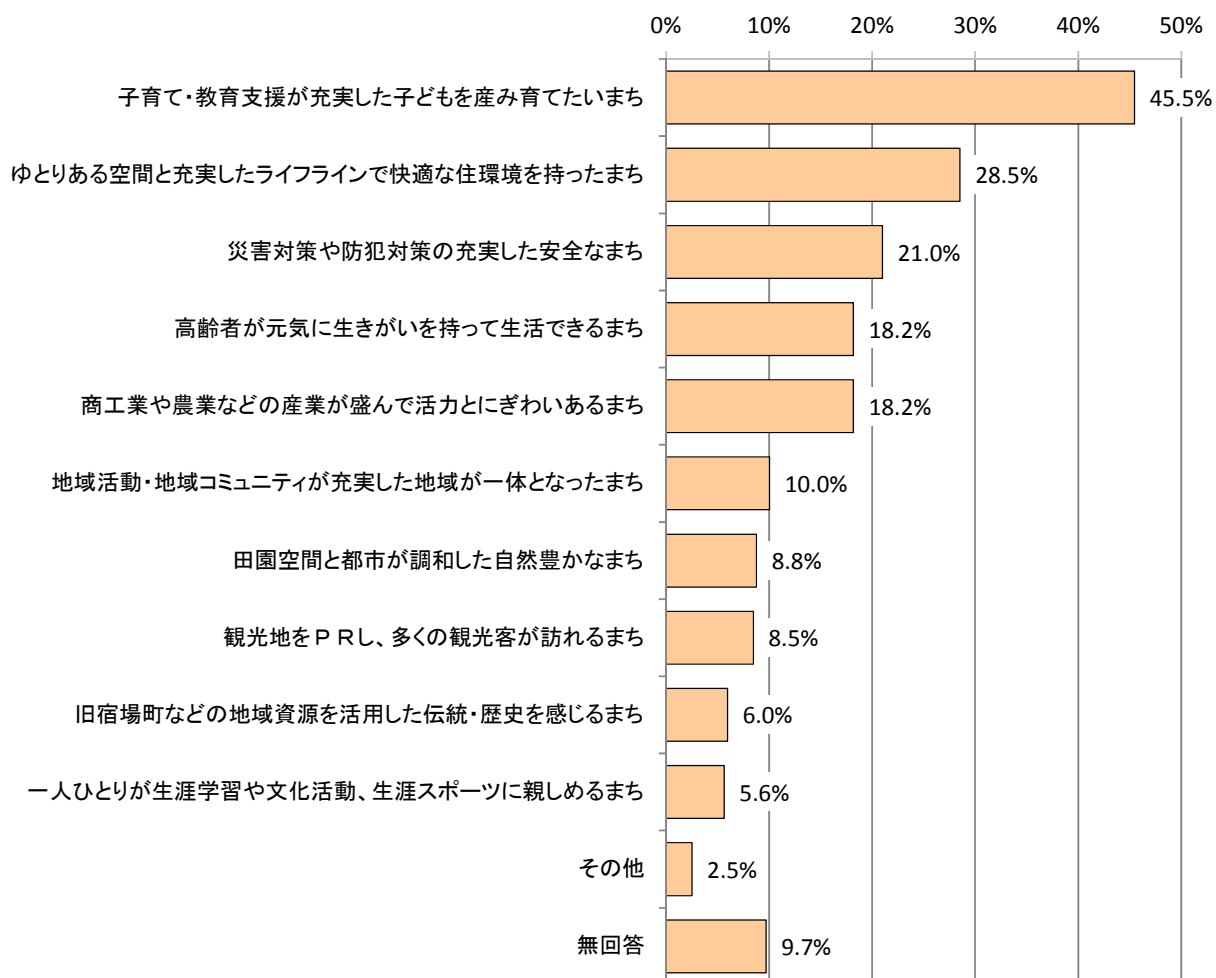
		特色ある学 校教育の充 実	地産地消の 推進	中心市街地 の活性化	市民と行政 の協働体制 の整備	NPO・コミュ ニティ等によ るまちづくり 活動の支援	行政運営の 効率化	財政の健全 化	その他	無回答
全体	人数	33	14	94	32	23	61	60	25	2
	構成比	10.3%	4.4%	29.5%	10.0%	7.2%	19.1%	18.8%	7.8%	0.6%
管理職	人数	12	1	15	15	5	21	14	8	0
	構成比	13.3%	1.1%	16.7%	16.7%	5.6%	23.3%	15.6%	8.9%	0.0%
管理職以外	人数	21	13	79	17	18	40	46	17	2
	構成比	9.3%	5.7%	34.8%	7.5%	7.9%	17.6%	20.3%	7.5%	0.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位: 白文字、2位: 太文字

問 13 幸手市をもっと住みたいと思えるまちにしていくなめには、特にどのような点に重点を置いたまちづくりを進めるべきだと思いますか。（2つまで○）

【全体】

「子育て・教育支援が充実した子どもを産み育てたいまち」が 45.5%と最も多く、次いで「ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち」が 28.5%の順となっています。



(N=319)

【年齢別】

30 歳代では、「ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち」が最も多くなっています。

		回答者数	田園空間と都市が調和した自然豊かなまち	子育て・教育支援が充実した子どもを産み育てたいまち	高齢者が元気に生きがいを持って生活できるまち	ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち	観光地をPRし、多くの観光客が訪れるまち	商工業や農業などの産業が盛んで活力とにぎわいあるまち
全体	人数	319	28	145	58	91	27	58
	構成比		8.8%	45.5%	18.2%	28.5%	8.5%	18.2%
29歳以下	人数	81	4	40	4	30	7	15
	構成比		4.9%	49.4%	4.9%	37.0%	8.6%	18.5%
30歳代	人数	55	8	20	8	20	3	7
	構成比		14.5%	36.4%	14.5%	36.4%	5.5%	12.7%
40歳代	人数	78	8	37	19	20	9	15
	構成比		10.3%	47.4%	24.4%	25.6%	11.5%	19.2%
50歳以上	人数	104	7	47	27	21	8	21
	構成比		6.7%	45.2%	26.0%	20.2%	7.7%	20.2%
無回答	人数	1	1	1	0	0	0	0
	構成比		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		災害対策や防犯対策の充実した安全なまち	地域活動・地域コミュニティが充実した地域が一体となったまち	旧宿場町などの地域資源を活用した伝統・歴史を感じるまち	一人ひとりが生涯学習や文化活動、生涯スポーツに親しめるまち	その他	無回答
全体	人数	67	32	19	18	8	31
	構成比	21.0%	10.0%	6.0%	5.6%	2.5%	9.7%
29歳以下	人数	16	8	2	2	3	12
	構成比	19.8%	9.9%	2.5%	2.5%	3.7%	14.8%
30歳代	人数	16	6	4	4	2	4
	構成比	29.1%	10.9%	7.3%	7.3%	3.6%	7.3%
40歳代	人数	15	7	6	6	1	3
	構成比	19.2%	9.0%	7.7%	7.7%	1.3%	3.8%
50歳以上	人数	20	11	7	6	2	12
	構成比	19.2%	10.6%	6.7%	5.8%	1.9%	11.5%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

【職階別】

		回答者数	田園空間と都市が調和した自然豊かなまち	子育て・教育支援が充実した子どもを産み育てたいまち	高齢者が元気に生きがいを持って生活できるまち	ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち	観光地をPRし、多くの観光客が訪れるまち	商工業や農業などの産業が盛んで活力とにぎわいあるまち
全体	人数	319	28	145	58	91	27	58
	構成比		8.8%	45.5%	18.2%	28.5%	8.5%	18.2%
管理職	人数	90	10	40	18	20	7	16
	構成比		11.1%	44.4%	20.0%	22.2%	7.8%	17.8%
管理職以外	人数	227	17	103	40	71	20	42
	構成比		7.5%	45.4%	17.6%	31.3%	8.8%	18.5%
無回答	人数	2	1	2	0	0	0	0
	構成比		50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		災害対策や防犯対策の充実した安全なまち	地域活動・地域コミュニティが充実した地域が一体となったまち	旧宿場町などの地域資源を活用した伝統・歴史を感じるまち	一人ひとりが生涯学習や文化活動、生涯スポーツに親しめるまち	その他	無回答
全体	人数	67	32	19	18	8	31
	構成比	21.0%	10.0%	6.0%	5.6%	2.5%	9.7%
管理職	人数	19	11	8	7	3	8
	構成比	21.1%	12.2%	8.9%	7.8%	3.3%	8.9%
管理職以外	人数	47	21	11	11	5	23
	構成比	20.7%	9.3%	4.8%	4.8%	2.2%	10.1%
無回答	人数	1	0	0	0	0	0
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：白文字、2位：太文字

5 自由記述欄

現総合振興計画の政策別に分類した主なご意見を紹介します。

1. 安心安全・環境分野

主なご意見
・圏央道が通ったことにより視界が悪く危険箇所が増えた。圏央道の真下は人通りも少なく夜は暗く物騒なので明るく安全にしてほしい。 ・市内に街灯を増やすべき、夕方以降、暗くて危険だと思う。

2. 健康福祉分野

主なご意見
・市内に小児科4件、お産のできる医院2件があるのはアピールポイントだと思う。 ・栄団地に、日本保健医療大学の学生を住まわせて（家賃補助あり）自治会と協力して、地域の活性化につなげられたら理想だと思う。（春日部市武里団地参照）

3. 都市基盤分野

主なご意見
・圏央道の開通は良いが、電車等の充実を図ってほしい。（JRの導入等） ・生活用品がそろえやすいような住宅地の整備が必要だと思う。 ・地域活動・地域コミュニティが充実した地域が、一体となった街づくりが必要ではないかと思う。

4. 教育分野

主なご意見
なし

5. 産業分野

主なご意見
・駅に電車待ちができるような店があると良いと思う。

6. 市民活動・人権分野

主なご意見
・市民との協働も大切だが、庁内の連携・協働も大切だと思う。関連する仕事は一緒に協力して行うとか、総合的な問題を扱う担当を作るとか、協力体制が必要だと思う。

7. 行財政運営分野

主なご意見
• 都市経営の観点から税収確保のための取組や、公共施設についても「稼ぐインフラ」の取組が求められて来ていると思う。 • 「活動指標」だけでなく、「成果指標」をどれだけ市民にわかりやすく伝えるか、シティープロモートしていくかも、課題だと思う。

參考資料 調查票

第6次幸手市総合振興計画策定のための 職員アンケート調査

第5次幸手市総合振興計画後期基本計画の計画期間が平成30年度で終了することから、新たに平成31年度から平成40年度までを計画期間とする第6次幸手市総合振興計画を策定します。

このアンケート調査は、計画の策定にあたり、市職員が総力を挙げて取り組む、職員参画による計画策定をめざし、行政運営に対する職員の考え方やこれからの方向性等を把握するとともに、市民との意識との相違を把握するために実施するものです。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成29年12月

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケート調査は、全職員を対象とします。
- 2 回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- 3 回答のあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は（ ）の中に具体的な内容の記載をお願いいたします。
- 4 記入いただきました調査票は、**平成30年1月16日（火）**までに政策調整課に設置する回収箱へ投かんしてください。

※回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

政策調整課 政策・魅力創造担当（内線4401）

1. あなたのことについて、おたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。(1つに○)

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。

(平成29年12月1日現在の年齢をお答えください。)(1つに○)

1. 29歳以下

3. 40歳代

2. 30歳代

4. 50歳以上

問3 あなたは管理職ですか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

2. 第5次幸手市総合振興計画について、おたずねします

問4 あなたは、第5次幸手市総合振興計画後期基本計画をどのようなときに活用していますか。(2つに○)

1. 施策や事業の課題、目的を把握するとき

2. 重点施策や事業を確認するとき

3. 成果指標の内容を確認するとき

4. 施策や事業の進捗状況进行评估するとき

5. 新たな計画や施策・事業を立案するとき

6. 総合振興計画を知っているが、活用したことがない

7. 総合振興計画を知らない

8. その他 ()

問5 総合振興計画の施策の課題について、課題解決に向けた取組として特にどのような点が重要だと思いますか。(2つに○)

1. 総合振興計画・行政評価・予算の密接な連携

2. 各課それぞれが実現に向けた取組を計画的に行う

3. 全職員が、総合振興計画を意識しながら業務に携わる

4. 計画の見直しを随時行い、その時々状況に合わせた目標設定を行う

5. 市民に十分な説明を行い、市民と認識を共有し、共に取り組む

6. その他 ()

3. 行財政改革について、おたずねします

問6 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきことは何だと思いますか。(2つまで○)

1. 事務の効率化
2. 将来人口を踏まえた公共施設の計画的な統廃合などの施設の再編
3. 市と市民の役割分担の適正化
4. 民間からの人材登用
5. ICT（情報通信技術）の活用
6. 自主財源のさらなる確保
7. 専門的な職員の育成
8. 民間の経営手法の習得や民間活力の導入
9. 人事評価を活用した職員の適性配置
10. その他（ ）

問7 あなたは、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画について、どの程度ご存じですか。(1つに○)

1. よく知っている
2. 概要は知っている
3. 名称は聞いたことがある
4. 聞いたことがない

問8 本市では、問7の計画を受けて平成30年度から2年間で公共施設の個別計画を策定する予定です。それに伴いアセットマネジメントに関する職員向けの研修会を行う場合、どのような形態が良いと思いますか。(2つまで○)

1. 全職員を対象とした研修会を、複数回実施することで多くの職員が受講できるようにしてほしい
2. 個別施設計画策定の実務を担当する職員を対象に研修を行ってほしい
3. アセットマネジメントに大きく関わる部署に対して連続した研修を行ってほしい
4. 特に研修は必要ない
5. その他（ ）

4. 市の施策について、おたずねします

問9 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思う点は何ですか。(3つまで○)

1. 都心から比較的近くアクセスがよい
2. 自然災害が少ない
3. 犯罪が少ない
4. 地域の結びつきが強い
5. 農業が盛んである
6. 買い物の便がよい
7. 子育て環境が充実している
8. 福祉が充実している
9. 生活環境が良く住みやすい
10. 自然環境が豊富である
11. 歴史のあるまちである
12. 人口密度が低い
13. 教育環境が充実している
14. 権現堂公園等の観光地がある
15. 圏央道のインターチェンジがある
16. 未開発地が多く、これから発展する可能性がある
17. その他 ()
18. 特にない

問10 幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思う点は何ですか。(3つまで○)

1. 市の財政状況が厳しい
2. 人口が減少傾向である
3. 交通の便が悪い
4. 下水等排水対策が遅れている
5. 地域の結びつきが弱い
6. 農業の後継者不足が深刻である
7. 商業施設が少ない
8. 子育て環境が充実していない
9. 福祉が遅れている
10. 少子化が進んでいる
11. 高齢化が進んでいる
12. 道路整備が遅れている
13. 教育環境が充実していない
14. 集客力のある施設、観光地が少ない
15. 市民協働の取組が進んでいない
16. 行政の質が十分でない
17. その他 ()
18. 特にない

問 11 市の各施策について、市民はどのくらい満足していると思いますか。

((1)～(50)につきそれぞれ1つに○)

評 価 項 目 (施策の例)		満足度				
		満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
→	(例) 住みよいまちづくり	1	2 ☒	3	4	5
→	(1) 環境にやさしい地域づくり 自然環境の保全、地球温暖化・生活雑排水・公害対策	1	2	3	4	5
→	(2) 廃棄物の排出抑制 広域的な取組の強化、廃棄物処理・体制整備、リサイクル活動などの推進	1	2	3	4	5
→	(3) 危機管理体制の強化 危機管理体制の確立、幸手市国民保護計画の推進	1	2	3	4	5
→	(4) 災害対策の充実 自主防災組織の育成・支援、災害に関する啓発・情報提供、応急物資等の確保、応援体制の拡充、地域防災計画の充実	1	2	3	4	5
→	(5) 総合治水対策の推進 保水・遊水機能の確保、排水対策の推進、河川の整備	1	2	3	4	5
→	(6) 地域安全活動の充実 犯罪防止活動の充実、地域防犯活動団体の育成・支援、安心できる住環境の整備	1	2	3	4	5
→	(7) 交通安全対策の推進 交通安全意識の向上、カーブミラー・ガードレールなどの整備	1	2	3	4	5
→	(8) 消防・救急体制の充実 埼玉東部消防組合の消防・救急業務への支援、消防団の充実・支援	1	2	3	4	5
→	(9) 子育て支援の充実 地域の子育て支援の充実、母子保健事業の充実、子育て相談・連携体制の充実、子育てと仕事の両立支援、経済的支援	1	2	3	4	5

項 目（施策の例）	評 価	
(10) 健康づくりの支援 市民の健康づくり支援、特定健康診査・特定保健指導、がん等疾病予防事業、健康相談・健康教育、訪問指導の充実、感染症予防対策の推進		
(11) 地域医療体制の充実 地域医療体制・救急医療体制・小児救急医療体制の充実、献血の普及啓発		
(12) 地域福祉の推進 福祉コミュニティの育成、地域福祉活動の推進、福祉・医療・保健の連携推進		
(13) 高齢者福祉の充実 高齢者の生きがいづくり活動への支援、生活支援サービスの充実		
(14) 介護保険制度の充実 介護保険事業の円滑な運営、介護サービスの充実、介護予防事業の充実、地域包括支援センターの充実		
(15) 障がいのある人の自立と社会参加の支援 障がいのある人の自立・社会参加の促進、福祉サービス・生活支援の充実、保健・医療サービスの推進、障がい児の教育・療育の充実		
(16) 社会保障制度の充実と円滑化 国民健康保険制度の充実、後期高齢者医療制度の運営、国民年金制度の啓発、生活保護の適正実施、低所得者の自立支援		
(17) 計画的な土地利用 土地利用構想の実現化、都市計画マスタープランの推進、土地利用の規制・誘導、住民参加型のまちづくり		

満足度				
満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5

項 目（施策の例）	評 価	
(18) 幸手駅周辺の開発 西口区画整理の推進、東口周辺の市街地整備の推進		
(19) 田園都市景観の形成 田園景観の保全・創造、良好な住環境と都市景観の整備・保全、屋外広告物対策の充実、大規模建築物等への指導		
(20) 水と緑の環境づくり 公園整備の推進、緑地・水辺環境の整備・保全		
(21) 道路網の整備 幹線道路や生活道路、橋りょうの整備・維持管理		
(22) 公共交通機関の拡充 デマンド交通を含めた公共交通機関の充実		
(23) 安全な水の供給 水の安定供給、水の有効利用の推進		
(24) 下水道の整備 公共下水道の整備、水洗化の促進、下水道施設の維持管理の充実		
(25) 児童・生徒の安心・安全の確保 校舎等の大規模改修の促進、児童・生徒の心身の健康づくり、地域と連携した安全の確保		
(26) 学校教育環境の整備 総合的な教育行政の推進、地域との交流の推進、就学の援助、進学への支援、特別支援教育の充実、余裕教室の活用、高等教育の振興		
(27) 学校教育内容の充実 基礎・基本の充実、時代の変化に応じた教育の充実、指導体制の充実、教育相談の充実、幼稚園教育の振興		

満足度				
満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5

評 価 項 目（施策の例）
(28) 青少年の健全な育成 青少年活動の促進、非行防止活動の推進
(29) 社会教育の充実 生涯学習の総合的推進、健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーションの振興、社会教育施設の整備・充実、文化芸術活動の振興
(30) 文化財の保護・活用 文化財の保護及び愛護意識の啓発、文化財・歴史資料の調査・研究と情報提供および歴史資料の公開
(31) 農業基盤の整備 かんがい用排水路の整備、農業経営の支援、後継者の育成・支援
(32) 地域農業の振興 地産地消の推進、ブランド化・特産品開発の支援、市民交流農業の推進
(33) 中心市街地の活性化 商店街の魅力ある環境整備、中心市街地活性化事業の推進
(34) 商業・サービス業の活性化 経営力向上の支援、後継者の育成・支援、商業団体の活動の支援
(35) 工業の活性化 経営力向上の支援、地元雇用の拡大、工業用地の確保、企業立地の促進
(36) 観光の振興 観光施設・ルートの整備、伝統行事等の活用、観光資源の掘り起こしと活用、観光事業の充実・連携、観光協会への支援・連携
(37) 勤労者対策の充実 雇用情報の提供、就業環境の充実、福利厚生への支援の充実

満足度				
満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5

評価 項目（施策の例）
(38) 消費生活の支援 消費生活相談の充実、情報提供の推進、消費者活動の支援
(39) 市民との協働の推進 協働体制の整備、まちづくり活動の支援
(40) コミュニティ活動の推進 コミュニティ活動の支援、コミュニティ意識の醸成
(41) 人権意識の高揚 啓発活動の推進、人権相談活動の充実、人権・同和教育の充実、市民活動の支援、生活環境の充実
(42) 男女共同参画社会の推進 推進体制の充実と市民活動の支援、意識啓発、男女が共に社会参加できる環境づくり、セクハラ・DV対策
(43) 平和・国際交流の推進 平和事業の推進、国際交流の充実、国際理解の推進、多文化共生の地域づくりの推進
(44) 計画的な行政運営 総合振興計画実施計画の進捗管理・評価、事務事業の見直し、効率的な行政組織の見直し、民間活力の導入
(45) 財政健全化の推進 財源の確保、適正な受益者負担の確保、収納率向上対策、適正な財源配分、補助金の適正交付
(46) 広報・広聴・情報公開の充実 タウンミーティング等の実施、市民意識の調査・意見募集、広報刊行物の充実、インターネットの活用、情報公開制度の充実
(47) 信頼のある人材管理・育成 人事管理の充実、職員の能力開発

満足度				
満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5
→ 1	2	3	4	5

評価	
項目（施策の例）	
(48) 地域情報化の推進	電子自治体の推進、地域情報通信システムの研究・活用、個人情報の保護
(49) 広域行政の確立	広域圏計画の推進、広域的な連携の検討・強化
(50) 移住・定住支援事業の推進	3世代ファミリー定住支援事業補助金、結婚新生活支援事業補助金交付事業

満足度				
満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

問 12 今後、10 年間で、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(3 つまで○)

1. 温暖化対策事業の推進
2. 循環型社会の形成（ごみの減量化など）
3. 災害に強いまちづくり
4. 地域子育て支援体制の充実
5. 地域医療体制の充実
6. 高齢者福祉・介護予防事業の充実
7. 幸手駅周辺の開発（西口土地区画整理）
8. シティセールスの推進
9. 特色ある学校教育の充実
10. 地産地消の推進
11. 中心市街地の活性化
12. 市民と行政の協働体制の整備
13. NPO・コミュニティ等によるまちづくり活動の支援
14. 行政運営の効率化
15. 財政の健全化
16. その他（

問 13 幸手市をもっと住み続けたいと思えるまちにしていくなめには、特にどのような点に重点を置いたまちづくりを進めるべきだと思いますか。(2つまで○)

1. 田園空間と都市が調和した自然豊かなまち
2. 子育て・教育支援が充実した子どもを産み育てたいまち
3. 高齢者が元気に生きがいを持って生活できるまち
4. ゆとりある空間と充実したライフラインで快適な住環境を持ったまち
5. 観光地をPRし、多くの観光客が訪れるまち
6. 商工業や農業などの産業が盛んで活力とにぎわいあるまち
7. 災害対策や防犯対策の充実した安全なまち
8. 地域活動・地域コミュニティが充実した地域が一体となったまち
9. 旧宿場町などの地域資源を活用した伝統・歴史を感じるまち
10. 一人ひとりが生涯学習や文化活動、生涯スポーツに親しめるまち
11. その他 ()

○最後に、ご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、政策調整課に設置する回収箱へ
1月16日までに投かんしてください。